

令和8年5月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	8,098	12,046	6,114	5,932	58	47
2 千 石	4,839	7,549	3,796	3,753	63	59
3 内 山	5,858	7,962	4,187	3,775	100	138
4 大 和	3,767	7,021	3,528	3,493	119	153
5 上 野	7,925	15,745	7,679	8,066	68	56
6 高 見	8,415	14,281	6,730	7,551	81	61
7 春 岡	8,526	12,536	6,593	5,943	91	101
8 田 代	12,295	22,683	10,820	11,863	72	91
9 東 山	11,065	19,507	9,437	10,070	77	87
10 見 付	4,814	8,796	4,401	4,395	40	32
11 星 ケ 丘	3,816	7,051	3,164	3,887	10	21
12 自由ケ丘	3,617	6,976	3,177	3,799	16	13
13 富士見台	6,791	15,026	6,915	8,111	6	△ 3
14 宮 根	4,026	8,150	3,741	4,409	8	△ 3
15 千代田橋	3,834	8,152	3,798	4,354	0	△ 19
千 種 区 計	97,686	173,481	84,080	89,401	809	834
R7. 5. 1	90,756	165,400	80,169	85,231	690	699
対 前 年 比	6,930	8,081	3,911	4,170	119	135
名 古 屋 市	1,195,185	2,351,298	1,154,294	1,197,004	6,534	6,205
愛 知 県 (R8. 4. 1)	3,430,921	7,439,980	3,705,284	3,734,696	13,960	△ 3,286

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	71	140	△ 69	2,284	1,381	903

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015		
平成7年	148,847	平成27年	164,696	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注1) 本市の世帯数と人口は、令和7年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものです。

注2) 世帯数は、令和7年10月1日から算出方法の一部を変更しています。

千種区の世帯数と人口増減の概況

今回は、令和7年国勢調査の世帯数と人口に関する速報値が発表されたので、5年前の国勢調査からの増減を見ていきます。なお、以下の数値は本市独自集計による速報値です。

令和7年10月現在の千種区の学区別世帯数は、多い方から田代（12,170世帯）、東山（11,054世帯）、高見（8,382世帯）となっています。5年間の世帯増加率をみると、千種区全体では12.0%で名古屋市全体（5.3%）を上回っています。千種区の学区別世帯増加率を大きい順に並べると、千石（+27.1%）、春岡（+24.0%）、内山（+23.2%）、千種（+18.6%）、見付（+12.8%）、高見（+12.3%）となっています（図1）。

また、令和7年10月現在の千種区の学区別人口数は、多い方から田代（22,596人）、東山（19,554人）、上野（15,823人）となっています。5年間の人口増加率をみると、千種区全体では4.6%で名古屋市全体（0.6%）を上回っています。千種区の学区別人口増加率を大きい順に並べると、内山（+17.0%）、春岡（+13.8%）、千種（+13.4%）、千石（+13.4%）、見付（+9.1%）、大和（+4.8%）の順となっています。（図2）

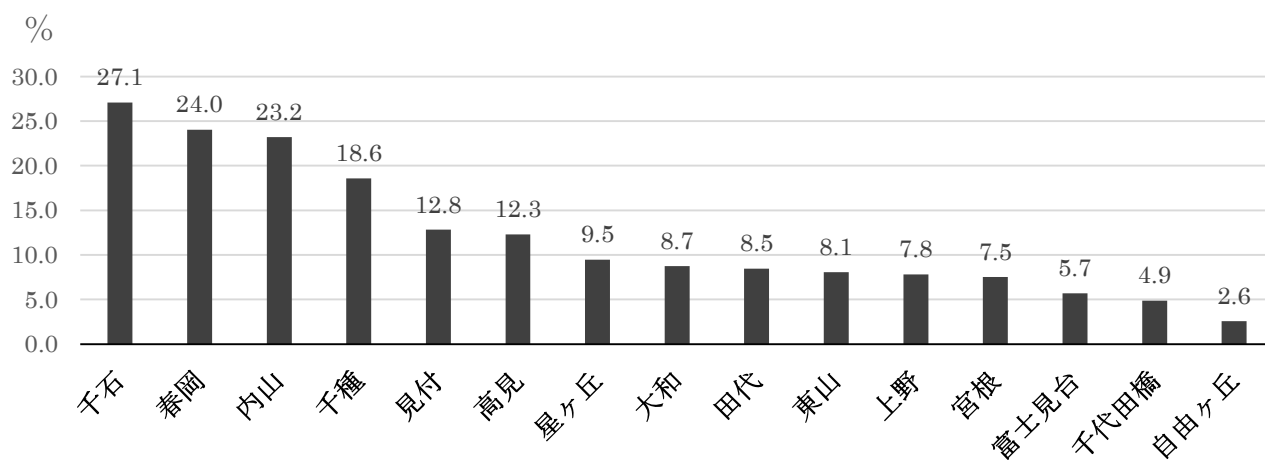


図1：千種区の学区別世帯増加率(令和2年10月比)

(学区)

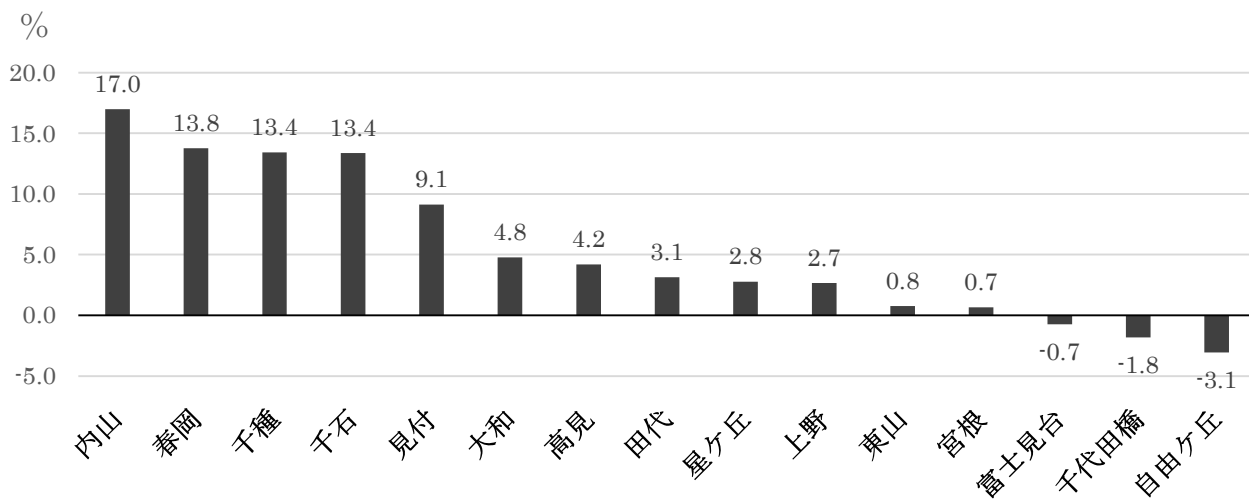


図2：千種区の学区別人口増加率（令和2年10月比）

(学区)